

(三) 三面の最下段から  
体制の合理化は、三池に働く全労働者の「生命と健康を奪い、生活を破壊」するものである限り、抵抗の少い三池新労組委員に、より攻撃がかけられることは明らかです。新労組委員の不満は最近徐々に高まりつつあります。もちろん組織的なものでは発展していませんが「三池労組」が、頑張ってくれ」と、個人的にはみんなその気持をもち、心そかに激励してくれています。私たちが常に毅然たる態度をもって新労組委員を包み、話しかけ、働きかける努力をすれば必ず共鳴してくれま。この実現を、闘う条件としてとりえをすべきです。

(3) 大牟田・荒尾地区における公害問題も社会問題になりつつあります。また化学の仲間が新しい職業病にかかり、苦しんでいる事実も出てきました。私たちが大牟田・荒尾地区におけるこれらの問題を積極的に話題とし取りあげ、闘いを組織し、CO・CSOの結合がはかれる条件のあることを見出しはなりません。

三、私たちがどのような視点・展望をもって闘いを進めるか  
敵の攻撃は正に体制的です。すなわち三井鉱山という個別資本の意志をのこして、独占と政府が一体となって障害認定を期し、CO患者をまっ殺するこの意図と「一五千人、二万トン体制」による私たちの「生命と健康を奪い、生活を破壊」の攻撃は同質のものである。体制的な攻撃である、これをどうとめ、運動の方向性と視点を明らかにする必要があります。

(1) 私たちは三池闘争以降本日まで、あらゆる弾圧と差別などに耐えぬいて闘い続けてきたことを

は、一体なんであったのかを明らかにする必要があります。単なる意地とか、やせがまん耐えてきたのではなく、「資本主義のもたらすあらゆる苦悶に反対し、人間らしく生きるため、平和と民主主義・生活と権利を守るため」に抵抗し、闘い続けてきました。この闘いは、三池という企業内だけにとどまらず、全労働者階級の立場にたつて闘ってきたはずで、そのために、反合理化闘争の基本としての「長期抵抗統一路線」の設定と「大衆路線」五人組」という組織方針をもって、三池の火を全国にひろげる闘いをしてきました。

私たちが闘いが、全国の活動家に大きな勇気をあたえ、さまざまな闘いのさそえとなつていくことも事実です。

(2) 私たちの闘いは、このように企業内の視点をのこして、正に階級的視点をたつて、CO・遺族闘争を闘うことす。そのために、職場における反合理化闘争とCO・遺族闘争との結合と、大牟田・荒尾地区をはじめ全国の労働闘争、職業病、公害などの闘いとの結合をはかり、共闘を強化してゆくことを常にふまえてとらえねばなりません。

(3) 共闘の強化と、政治的な目標として「社会保障の強化」「労災法の改正」と共通な目標に向かって、幅広い結果をはかり、佐藤内閣にせまり、ねほり強い闘いを決意する必要があります。

(4) きびしい情勢をのこして、六項目を闘いぬくこととは、具体的にどのようなことであるかといえます。

(1) CO患者の現状(補取り扱ひも含む)を最低の条件として補償させ、それ以上の補償を闘い取るための「闘争」を組織的に保証する。

(2) 基準とするものは、組合医師団の見解をあぐまで守りぬくこと。

(5) 以上の原則を闘いぬくためには、六項目の中身(諸取り扱ひも含む)を全組合員が自らのものとしてとらえ、十一分会がその先頭に立つて闘い、それを全組合員がつつ完全なる体制を作ることが必要です。

おわりに  
以上は大綱ですが、大項目をめざして闘うための具体的な進め方については、情勢の推移を判断し、その都度戦術を組んで提案・指示します。多く出ましたその他の意見については、なほ今後の実践のなかでとり入れ、消化してゆきます。

四山指導部所属の松探炭工今村輝義さんは、二月十四日(休)に、二月二十五日には奥さんとともに組合本部を訪れ、「永い間お世話になりました。今後は三池ダマニイを持って頑張ります」とあつた。これ、金一封として二万円をCOカンパとして下さりました。その足でCO守る会の事務所へ行きそのうえCO守る会に一年分の会費(一、二〇〇円)をおさめて帰られました。

今村さんの奥さんは永い間主婦会の分会長、執行委員などをつとめられました。お二人ともお身体を大切に、三池の火を燃やしつつけて下さい。ありがとうございます。

全軍勢からも  
このほど、アメリカ駐留軍を相手に、沖縄でひるます闘っている全軍勢から、二万二千三百円ものカンパをいただきました。心からお礼を申し上げます。全軍勢の皆様、がんばってください。

## 大地評駅伝、七日に迫る

### 三池から三チームが参加

#### 家族ぐるみで団結競う

例年大牟田市をにぎわして行なわれる大地評駅伝、がやってきました。今年はその二十回目、開催日はきたる七日の日曜日午前十時から。

今年の特徴は何といつても、三池労組の家族ぐるみ団結駅伝形式が採用されること、果してどのような展開となるか、期待は大きいです。

従って、そのコースも大きくかわって、その全長二十六・九キロメートル、十四区間にわたって走冠が競われる。

各区間について見ると、次の通りである。

一区	大地評市立病院の〇・九キロ(組合三役が走る)
二区	市立病院一三三町三三〇・〇キロ。(自由)
三区	三里町二丁目一馬場南小二・四キロ。(三十才以上)
四区	馬場南小前二病院前一・九キロ。(自由)
五区	第二病院前早鐘踏切前二・五キロ。(三十才以上)
六区	早鐘踏切前平野山社宅三・五キロ。(自由)
七区	平野山社宅三三三売店前〇・三キロ。(主婦または女子)
八区	三三三売店前三煉アパート前二・四キロ。(主婦または女子)
九区	三煉アパート前三池田町一・八キロ。(三十才以上)

三池田町一草木八幡宮一・一キロ。(自由)

一八区 草木八幡宮前手鎖橋一・九キロ(三十才以上)

一九区 手鎖橋一明治町二丁目一〇キロ。(中学生)

二〇区 明治町二丁目一〇大正湯前一・〇キロ。(執行委員)

二四区 大正湯前大地評前決勝点三・一キロ。(自由)

以上で正選手十四人に補欠が五人という構成。

いまのところ参加チームは二二組。三池労組からは三チームが参加してがんばる。

プラカード展  
や写真なども  
大地評駅伝の催しを盛りあげようと、大地評では「駅伝プラカード展」を開催する。

## 「来年もやりにゃー」 団結駅伝で早くもこの決意





三池労組の、家族ぐるみの、第二の団結の力をしみじみ感じた。来年もやりにゃー」と、早くも来年への決意を固めていた。次は、大地評駅伝だ。

三池田町一草木八幡宮一・一キロ(自由)

一八区 草木八幡宮前手鎖橋一・九キロ(三十才以上)

一九区 手鎖橋一明治町二丁目一〇キロ。(中学生)

二〇区 明治町二丁目一〇大正湯前一・〇キロ。(執行委員)

二四区 大正湯前大地評前決勝点三・一キロ。(自由)

以上で正選手十四人に補欠が五人という構成。

いまのところ参加チームは二二組。三池労組からは三チームが参加してがんばる。

プラカード展  
や写真なども  
大地評駅伝の催しを盛りあげようと、大地評では「駅伝プラカード展」を開催する。

写真上は、よろこびの授賞式。左上は、ドン尻1位の執行部チーム。左下は、主婦の力走。

題材「駅伝にちなんだ作品」  
種目「キャベツ」  
応募資格「大地評組合員と家族」  
締め切り「きたる十三日午後五時」  
まで、大地評事務局へ。  
賞 入選(一〜三位)、佳作五名、全員に参加賞。  
展示「十九日より三日間、大地評前」。

優勝・準優勝・三位チーム当り  
一人一答(ハガキで)。所属労組・住所・氏名必記のこと。  
資格は前記同様。  
締切りは六日まで大地評へ。  
賞は一、二位まで。